



2020年の
経済産業省と環境省の
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス
ZEH補助金について



一般社団法人

環境共創イニシアチブ

Sustainable open Innovation Initiative

ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) とは



外皮の断熱性能の大幅な向上と、高効率な設備・システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネを実現(省エネ基準比20%以上)。その上で、再エネを導入して、年間の一次エネルギーの収支をゼロとすることを目指した住宅をZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)といいます。

新築住宅を建築・購入等※する個人が対象の補助事業

※既存住宅を改築する場合も含まず

- 1

ゼッチ
ZEH (P3 参照) ★

補助金名 ZEH支援事業

補助額 60万円/戸
- 2

ゼッチ・プラス
ZEH+ 再生可能エネルギーの自家消費拡大を目指したZEH (P3 参照) ★

補助金名 ZEH+実証事業

補助額 ZEH+:105万円/戸
次世代ZEH+:105万円+ α /戸
- 3

ゼッチ・プラス・アール
ZEH+R 停電時にも自立可能なレジリエンス強化に資するシステムを備えたZEH+ (P4 参照)

補助金名 ZEH+ R強化事業

補助額 115万円/戸+下記①②③のうちいずれかを導入した場合に補助金を加算

①蓄電システムの購入費用
2万円/kWh、補助対象経費の1/3又は20万円のいずれか低い額を加算

②太陽熱利用温水システムの購入費用
【液体式】17万円/戸
【空気式】60万円/戸

③停電自立型燃料電池
定額4万円~11万円/戸
※仕様、燃料種別等により3万円加算
複数に該当する場合は重複適用

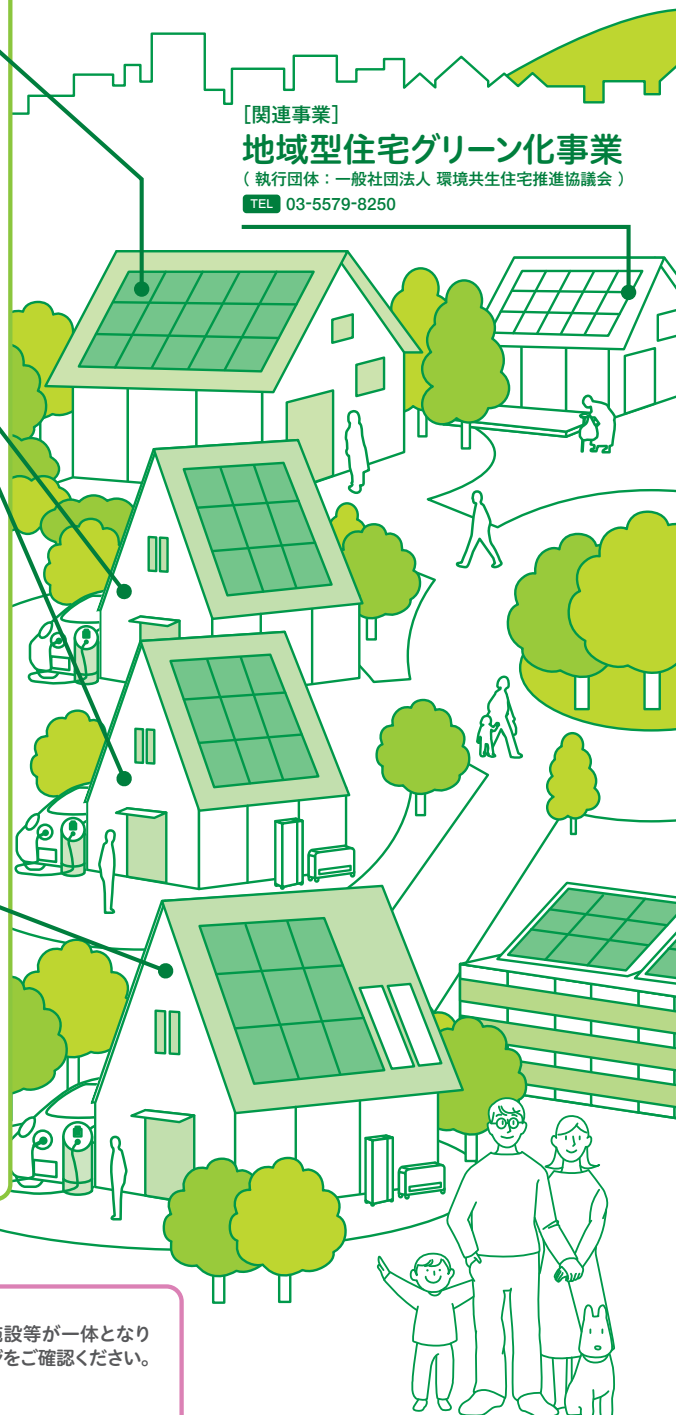
2020
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス
ZEH

[関連事業]

地域型住宅グリーン化事業

(執行団体：一般社団法人 環境共生住宅推進協議会)

TEL 03-5579-8250



その他のZEH関連事業

「コミュニティZEHによるレジリエンス強化事業」(災害時に複数のZEH等と地域に貢献する施設等が一体となりネット・ゼロ・エネルギー達成を目指すコミュニティを補助する事業)については、SIIのホームページをご確認ください。

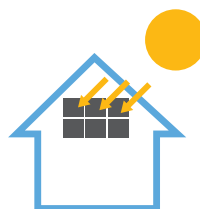
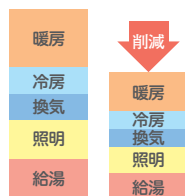
https://sii.or.jp/com_zeh01r/

断熱性能の向上

高効率な
設備・システムの導入

再エネの導入

メリット



快適性アップ

光熱費削減

CO₂削減

エネルギーを
極力必要としない
(夏は涼しく、冬は暖かい住宅)

エネルギーを上手に使う

エネルギーを創る

年の補助金

新築住宅を開発する事業者等が対象の補助事業

4

ゼッチ・マンション
超高層ZEH-M 住宅用途部分が
21層以上のZEH-M

(P5 参照)

補助金名 超高層ZEH-M実証事業
補助額 補助対象経費の2/3以内
上限3億円/年、10億円/事業
※事業期間は最長5年とする

5

ゼッチ・マンション
高層ZEH-M 住宅用途部分が
6層～20層のZEH-M

(P5 参照)

補助金名 高層ZEH-M 支援事業
補助額 補助対象経費の1/2以内
上限4億円/年、8億円/事業、
補助事業の費用対効果
※事業期間は最長4年とする

6

NEW ゼッチ・マンション
低中層ZEH-M 住宅用途部分が
1層～5層のZEH-M

(P6 参照)

補助金名 低中層ZEH-M促進事業
補助額 50万円/戸
上限3億円/年、6億円/事業
※事業期間は最長3年とする

☆「先進的再エネ熱等導入支援事業」と併願可能

ZEH又はZEH-Mの要件を満たした住宅に導入する、直交集成板 (CLT)、地中熱ヒートポンプ・システム、PVTシステム、液体集熱式太陽熱利用システム、蓄電システムに対する補助金

(P4 参照)

各補助事業の主なポイント



ZEH支援事業

対象となる住宅

- ・『ZEH』
- ・Nearly ZEH
(寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る)
- ・ZEH Oriented
(都市部狭小地の二階建以上及び多雪地域に限る)

交付要件の 主なポイント

- ① ZEHロードマップにおける『ZEH』の定義を満たしていること
- ② SIIに登録されているZEHビルダー/プランナーが関与(設計、建築、改修又は販売)する住宅であること

補助額

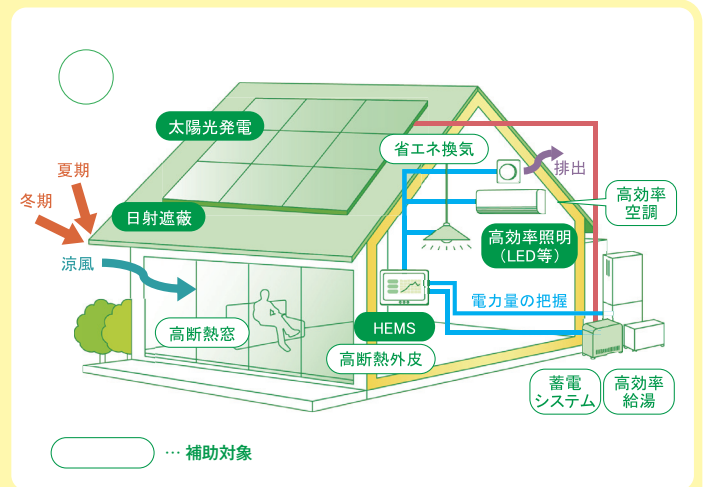
60万円/戸

補助対象住宅に蓄電システム(定置型)を導入する場合は**2万円/kWh**、補助対象経費の1/3又は20万円のいずれか低い額を加算

公募方法

先着方式

一般公募及び新規取り組みZEHビルダー/プランナー向け公募に分けて実施します



ZEH+実証事業

対象となる住宅

- ・『ZEH+』
- ・Nearly ZEH+
(寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る)

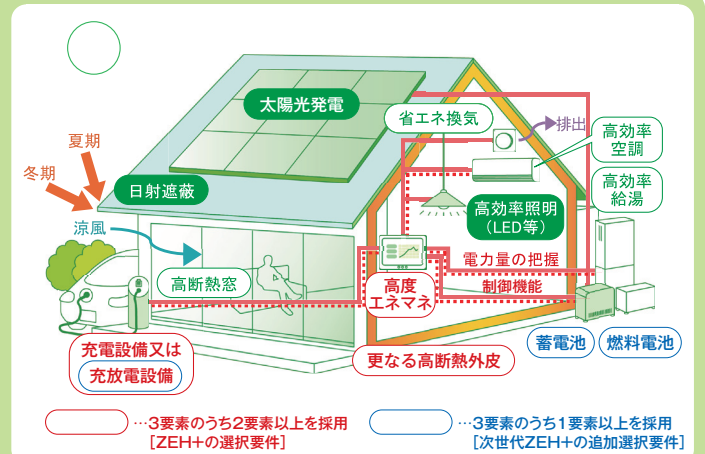
交付要件の 主なポイント

<ZEH+に係る要件>

- ① ZEHロードマップにおける『ZEH』の定義を満たしていること且つ、以下のIとIIを満たすこと
 - I. 更なる省エネルギーの実現
(省エネ基準から25%以上の一次エネルギー消費量削減)
 - II. 以下の再生可能エネルギーの自家消費拡大措置のうち2つ以上を導入すること
 1. 外皮性能の更なる強化
 2. 高度エネルギーマネジメント
 3. 電気自動車(PHV車を含む)を活用した自家消費の拡大措置のための充電設備又は充放電設備
- ② SIIに登録されているZEHビルダー/プランナーが関与(設計、建築、改修又は販売)する住宅であること

<次世代ZEH+に係る要件>

- ③ 「ZEH+に係る要件」を満たしていること且つ、以下のいずれか1つ以上を導入
 1. 蓄電システム
 2. 燃料電池
 3. V2H充電設備(充放電設備)



補助額

●ZEH+

105万円/戸

●次世代ZEH+

105万円/戸

・蓄電システム(定置型):

2万円/kWh、補助対象経費の1/3又は20万円のいずれか低い額を加算

・燃料電池:定額4万円~11万円を加算

※仕様、燃料種別等により3万円を加算。複数に該当する場合は重複適用

・V2H充電設備(充放電設備):

補助対象経費の1/2又は75万円のいずれか低い金額を加算

公募方法

事前枠付与方式

ZEHビルダー/プランナーからの提案応募に基づき設定された補助対象件数の上限枠内でご応募いただきます
提案応募のあったZEHビルダー/プランナーに対してZEH+、次世代ZEH+それぞれの戸数割当を決定し通知します

なお、「ZEHビルダー/プランナー評価制度」において、3つ星以上の評価を得ているZEHビルダー/プランナーには、必ず1枠以上付与します



ZEH+R強化事業

対象となる住宅

- ・『ZEH+』
- ・Nearly ZEH+
(寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る)

交付要件の 主なポイント

- ①ZEH+を満たす住宅であること
- ②停電時に、以下のいずれかにより、主たる居室で電源を確保できること
 - ・太陽光発電システムのPCS等から取り出す非常用電力を主たる居室を含む3箇所以上の非常用コンセントに配線する計画
 - ・太陽光発電システム、太陽光発電システムにより発電された電力を蓄電する蓄電システム又は停電自立型燃料電池のいずれかから、住宅内又はその一部に電力供給することが可能な計画
- ③「蓄電システム」「自立制御電源を確保した太陽熱利用温水システム」「停電自立型燃料電池」のうち1つ以上を導入すること

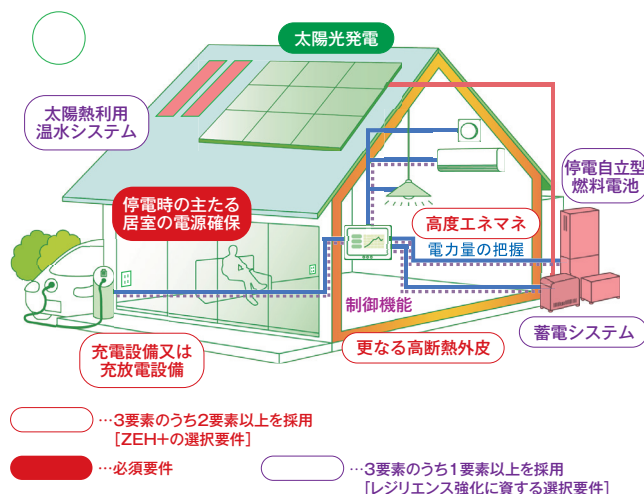
補助額

115万円/戸

- ・蓄電システム(定置型):**2万円/kWh**、補助対象経費の1/3又は20万円のいずれか低い額を加算
- ・太陽熱利用温水システム:【液体式】**17万円/戸** 【空気式】**60万円/戸**
- ・停電自立型燃料電池:**定額4万円～11万円**を加算
※仕様、燃料種別等により3万円加算。複数に該当する場合は重複適用

公募方法

先着方式



先進的再エネ熱等導入支援事業

対象となる住宅

「令和2年度 ZEH支援事業」、「令和2年度 ZEH+実証事業」又は「令和2年度 低中層ZEH-M促進事業」のいずれかの交付決定を受けた補助対象住宅

補助対象

以下のいずれかの建材・設備

- ①直交集成板(CLT) ②地中熱ヒートポンプ・システム ③PVTシステム ④液体集熱式太陽熱利用システム
- ⑤蓄電システム(ZEH+実証事業においてZEH+の補助対象住宅に導入する場合に限る)

補助額

- ①90万円/戸(低中層ZEH-Mに導入する場合は10万円/㎡(上限:1,500万円/棟)) ②90万円/戸
- ③【液体式】65万円/戸もしくは、80万円/戸
【空気式】90万円/戸
- ④12万円/戸もしくは、15万円/戸 ⑤2万円/kWh、補助対象経費の1/3又は20万円のいずれか低い額を加算

公募方法

先着方式

併願申請する「令和2年度 ZEH支援事業」、「令和2年度 ZEH+実証事業」又は「令和2年度 低中層ZEH-M促進事業」のいずれかの交付申請を行った後に申請すること(同時申請も可能)

<ZEHの定義>

- 『ZEH』.....以下の①～③の全てに適合した住宅
 ①強化外皮基準(1～8地域の平成28年省エネルギー基準(ηAC値、気密・防露性能の確保等の留意事項)を満たした上で、UA値 1、2地域:0.4[W/mK]以下、3地域:0.5[W/mK]以下、4～7地域:0.6[W/mK]以下) ②再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減 ③再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から100%以上の一次エネルギー消費量削減
- Nearly ZEH以下の①～③の全てに適合した住宅
 ①強化外皮基準(1～8地域の平成28年省エネルギー基準(ηAC値、気密・防露性能の確保等の留意事項)を満たした上で、UA値 1、2地域:0.4[W/mK]以下、3地域:0.5[W/mK]以下、4～7地域:0.6[W/mK]以下) ②再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減 ③再生可能エネルギー等を加えて、基準一次エネルギー消費量から75%以上100%未満の一次エネルギー消費量削減
- ZEH Oriented以下の①、②に適合した住宅
 ①強化外皮基準(1～8地域の平成28年省エネルギー基準(ηAC値、気密・防露性能の確保等の留意事項)を満たした上で、UA値 1、2地域:0.4[W/mK]以下、3地域:0.5[W/mK]以下、4～7地域:0.6[W/mK]以下) ②再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減
 ※再生可能エネルギー未導入でも可
 ※都市部狭小地(北側斜線制限の対象となる用途地域(第一種及び第二種低層住宅専用地域並びに第一種及び第二種中高層専用地域)等であって、敷地面積が85㎡未満である土地。但し、住宅が平屋建ての場合は除く)等に建築される場合に限る

詳細については、各補助事業の公募要領を必ずご確認ください

4

超高層ZEH-M

5

高層ZEH-M

ゼッチ・マンション
超高層ZEH-M／高層ZEH-M

対象となる住棟

- ・『ZEH-M』
- ・Nearly ZEH-M
- ・ZEH-M Ready
- ・ZEH-M Oriented

交付要件の
主なポイント

- ①集合住宅におけるZEHロードマップの「ZEH-Mの定義」を満たしていること
且つ、以下のIとIIを満たすこと
I. 住宅用途部分が21層以上(超高層ZEH-M)、
6層以上20層以下(高層ZEH-M)の集合住宅であること
II. BELS評価書を活用した営業広報を行うこと
- ②補助事業者は以下のいずれかであること
I. SIIに登録されているZEHデベロッパー(建築主)
II. 個人または不動産業以外の法人であり、
ZEHデベロッパー(建築請負会社)に
補助事業の発注を計画している建築主

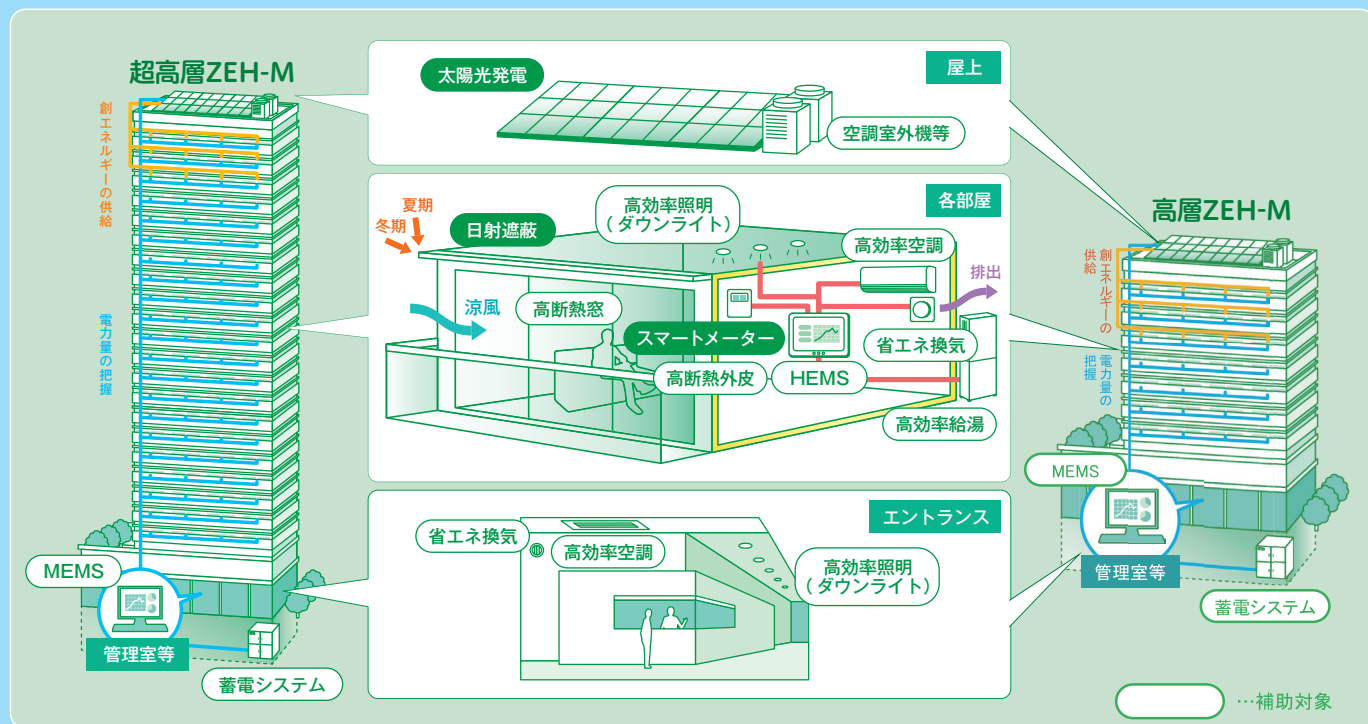
補助額

- 超高層ZEH-M
補助対象経費の2/3以内
※事業期間は最長5年とする
(上限:3億円/年、10億円/事業)
- 高層ZEH-M
補助対象経費の1/2以内
※事業期間は最長4年とする
(上限:4億円/年、8億円/事業、
補助事業の費用対効果)

採択方式

審査採択方式

申請件数が予算額を超えた場合は
審査により採択案件を決定します
(申請は住棟単位、公募は1回を予定)



<ZEH-Mの定義>

- 『ZEH-M』……………以下の①～③の全てに適合した集合住宅(住棟)
 ①当該住棟に含まれる全ての住戸について、強化外皮基準(1～8地域の平成28年省エネルギー基準(η_{AC} 値、気密・防露性能の確保等の留意事項)を満たした上で、UA値 1、2地域:0.40[W/m²K]以下、3地域:0.50[W/m²K]以下、4～7地域:0.60[W/m²K]以下)に適合 ②再生可能エネルギー等を除き、共用部を含む当該住棟全体で、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減 ③再生可能エネルギー等を加えて、共用部を含む当該住棟全体で、基準一次エネルギー消費量から100%以上の一次エネルギー消費量削減
- Nearly ZEH-M……………以下の①～③の全てに適合した集合住宅(住棟)
 ①当該住棟に含まれる全ての住戸について、強化外皮基準(1～8地域の平成28年省エネルギー基準(η_{AC} 値、気密・防露性能の確保等の留意事項)を満たした上で、UA値 1、2地域:0.40[W/m²K]以下、3地域:0.50[W/m²K]以下、4～7地域:0.60[W/m²K]以下)に適合 ②再生可能エネルギー等を除き、共用部を含む当該住棟全体で、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減 ③再生可能エネルギー等を加えて、共用部を含む当該住棟全体で、基準一次エネルギー消費量から75%以上100%未満の一次エネルギー消費量削減
- ZEH-M Ready……………以下の①～③の全てに適合した集合住宅(住棟)
 ①当該住棟に含まれる全ての住戸について、強化外皮基準(1～8地域の平成28年省エネルギー基準(η_{AC} 値、気密・防露性能の確保等の留意事項)を満たした上で、UA値 1、2地域:0.40[W/m²K]以下、3地域:0.50[W/m²K]以下、4～7地域:0.60[W/m²K]以下)に適合 ②再生可能エネルギー等を除き、共用部を含む当該住棟全体で、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減 ③再生可能エネルギー等を加えて、共用部を含む当該住棟全体で、基準一次エネルギー消費量から50%以上75%未満の一次エネルギー消費量削減
- ZEH-M Oriented……………以下の①、②に適合した集合住宅(住棟)
 ①当該住棟に含まれる全ての住戸について、強化外皮基準(1～8地域の平成28年省エネルギー基準(η_{AC} 値、気密・防露性能の確保等の留意事項)を満たした上で、UA値 1、2地域:0.40[W/m²K]以下、3地域:0.50[W/m²K]以下、4～7地域:0.60[W/m²K]以下)に適合 ②再生可能エネルギー等を除き、共用部を含む当該住棟全体で、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量削減

⑥ 低中層ZEH-M

ゼッチ・マンション
低中層ZEH-M **NEW**

対象となる住棟

- ・『ZEH-M』
- ・Nearly ZEH-M
- ・ZEH-M Ready
(住宅部分が4・5層の集合住宅に限る)

交付要件の 主なポイント

- ① 集合住宅におけるZEHロードマップの「ZEH-Mの定義」を満たしていること
且つ、以下のI～Ⅲを満たしていること
I. 住宅用途部分が5層以下であること
II. 住宅用途部分が1層～3層の集合住宅は
Nearly ZEH-M以上、4・5層の集合住宅は
ZEH-M Ready以上であること
Ⅲ. BELS評価書を活用した営業広報を行うこと
- ② 補助事業者は以下のいずれかであること
I. SIIに登録されているZEHデベロッパー（建築主）
II. 個人または不動産業以外の法人であり、
ZEHデベロッパー（建築請負会社）に補助事業の発注を計画している建築主

補助額

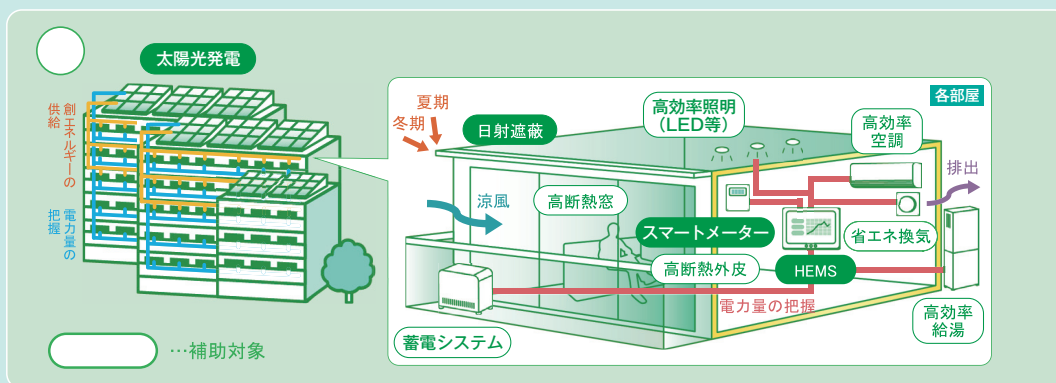
50万円/戸

※事業期間は最長3年とする
(上限:3億円/年、6億円/事業)
専有部に蓄電システム(定置型)を設置する場合:
2万円/kWh、補助対象経費の1/3又は20万円
(ただし一定の条件を満たした場合24万円)
のいずれか低い額を加算

採択方式

審査採択方式

申請件数が予算額を超えた場合は審査により採択
案件を決定します(申請は住棟単位、公募は1回を予定)



登録制度について

ZEHビルダー／プランナーとは

自社が受注する住宅のうちZEH(『ZEH』、Nearly ZEH、ZEH Orientedを含む)が占める割合を2020年度までに50%以上とする目標を掲げるハウスメーカー、工務店、建築設計事務所、リフォーム業者、建売住宅販売者等のこと。SIIは「ZEHビルダー/プランナー」を、公募、登録、公表しています。



ZEHデベロッパーとは

「ZEH-M普及に向けた取組計画」「その進捗状況」「ZEH-M導入計画」「ZEH-M導入実績」を公表し、ZEH-Mの案件形成の中心的な役割を担う建築主(マンションデベロッパー、所有者等)や建築請負会社(ゼネコン、ハウスメーカー等建設会社)のこと。SIIは「ZEHデベロッパー」を公募、登録、公表しています。



ZEHビルダー/プランナー、
ZEHデベロッパーに関する詳細は
SIIホームページをご覧ください。

ZEHビルダー／プランナー

ZEHデベロッパー

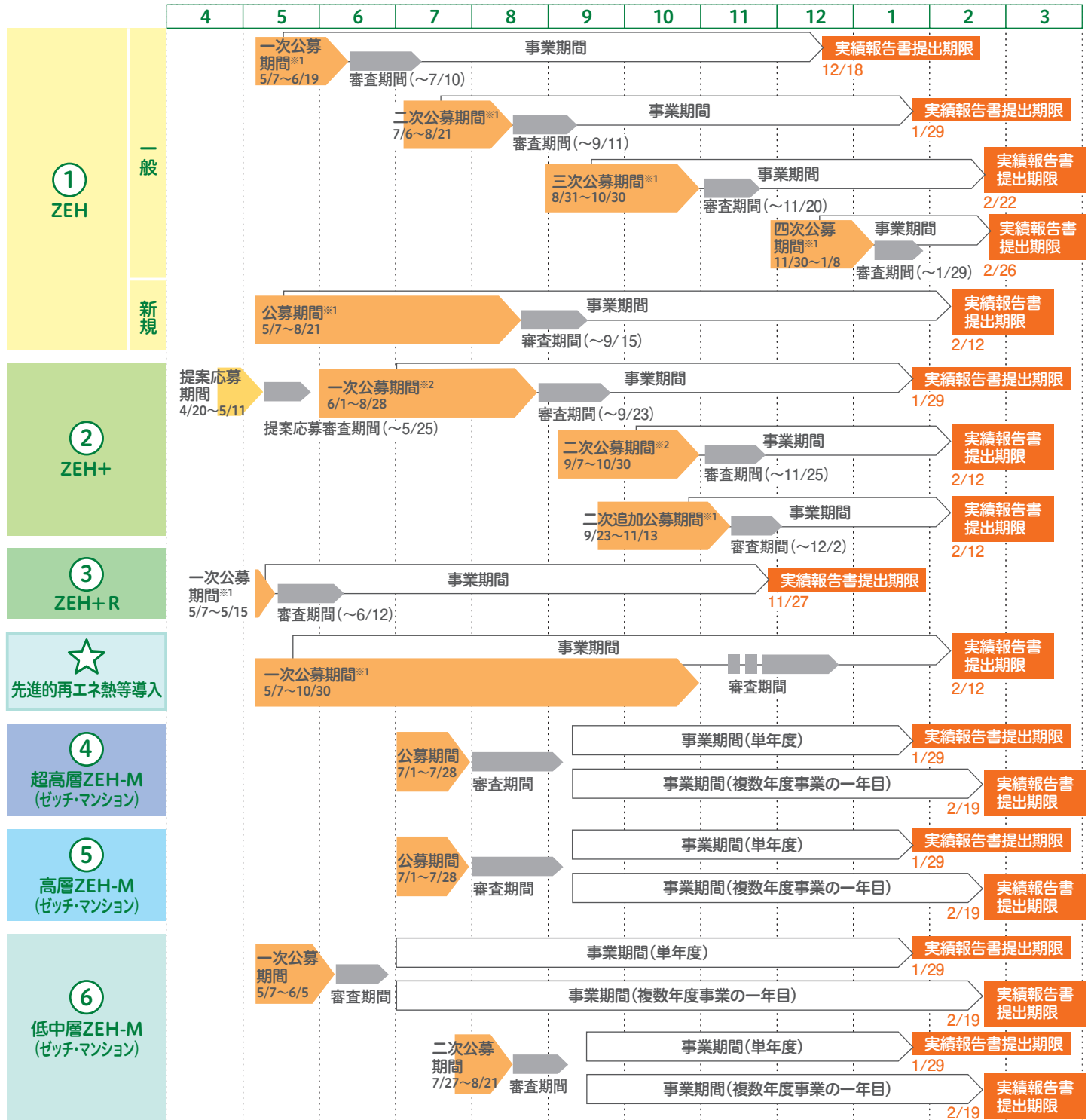
https://sii.or.jp/meti_zeh02/builder/
https://sii.or.jp/meti_zeh_m02/zeh_dev/

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ZEHビルダー／プランナー登録	実績報告期間 4/7～6/30											
	第1回実績公表 (ZEHビルダー/プランナー評価公表)											
	新規登録 第1回～4/17											
	第2回実績公表 (ZEHビルダー/プランナー評価公表)											
ZEHデベロッパー登録	実績報告期間 4/7～6/22											
	第1回実績公表											
	新規登録 第1回～5/25											
	第2回実績公表											

詳細については、各補助事業の公募要領を必ずご確認ください

各補助事業のスケジュール

※1 先着順・都度交付
※2 都度交付



- スケジュールは変更となることがあります。必ずSIIホームページの各補助事業における公募情報にて、最新の公募期間をご確認ください。
- 交付決定後に当初の完了予定日までに事業が完了しないことが見込まれた場合には、繰越による対応も含めて速やかにご相談ください。

各補助事業の詳細は、SIIのホームページをご覧ください

下記のホームページから「公募要領」をダウンロードできます。

「ZEH支援事業」	https://sii.or.jp/moe_zeh02/	ゼッチ・マンション 「低中層ZEH-M促進事業」	https://sii.or.jp/moe_zeh_m02/
「先進的再エネ熱等導入支援事業」	https://sii.or.jp/moe_zeh_m02/	TEL 03-5565-4533	【受付時間】 平日 10:00～17:00
TEL 03-5565-4030	【受付時間】 平日 10:00～17:00	ゼッチ・マンション 「高層ZEH-M支援事業」	https://sii.or.jp/moe_zeh_m02/
「ZEH+実証事業」	https://sii.or.jp/meti_zeh02/	TEL 03-5565-4030	【受付時間】 平日 10:00～17:00
「令和元年度補正 ZEH+R強化事業」	https://sii.or.jp/zeh_plus_r01r/	ゼッチ・マンション 「超高層ZEH-M実証事業」	https://sii.or.jp/meti_zeh_m02/
TEL 03-5565-4081	【受付時間】 平日 10:00～17:00	TEL 03-5565-4081	【受付時間】 平日 10:00～17:00

補助金申請において、虚偽の申請・不正受給等の不正行為に対して、厳正に対処いたします。申請される皆さまは十分ご留意いただきますようお願いいたします。
「地域型住宅グリーン化事業」の事業詳細については当該事業の執行団体に問い合わせ下さい。